

2021年度 支援事業 活動報告

第8号 みんなで伝え合おうヒロシマ・ナガサキ～広島の会 2021～

活動報告

2019年12月から長崎では、「ナガサキ 映画と朗読プロジェクト」として、ヒロシマ・ナガサキの被爆体験を幅広く継承する取り組みが続けられており、広島においても、同様の取り組みを行おうと有志が集った。被爆者の方々が高齢化する中、様々な世代がそれぞれの方法で被爆体験をつないでいくことが大切だと考え、広島では初の試みとして、朗読を中心に広島・長崎の被爆者の思いを伝えていく会を開催し、インターネットによるライブ配信も行った。なお、広島市が主導する平和文化月間の一環として開催し、市の広報紙等でPRを行った。

開催日時：2021年（令和3年）11月20日（土）

12時30分～18時00分

会場：広島平和記念資料館メモリアルホール

参加費：無料

入場者数：入場者89名 出演参加者等50名 計139名

内容：原爆死没者への追悼

- ① DVD上映 「レインボー～ピースをつなげて～」
（東野小学校合唱クラブ・上垣内寿光）
- ② 県内高等学校放送部による 映像作品上映
 - ・バイオリンに思いを込めて（尾道東高校）
 - ・ポンプさんのまなざし（呉三津田高校）
 - ・三十一文字にのせて（呉三津田高校）
 - ・赤レンガから君へ（広島皆実高校）
 - ・高校生（五日市、広島文教大付属、広島井口、高陽高校の4校5名）による岡田恵美子さんの被爆体験記の朗読
- ③ 朗読劇「母と暮らせば（井上ひさし作）」（長崎の朗読グループ「正しい日本語研修会」3名）
- ④ 朗読「ヒロシマの空の下で」広島女学院卒業生鎌塚寿恵子さんの体験記「講堂の下から逃げ延びて」、原爆詩2編（国立広島原爆死没者追悼平和祈念館朗読ボランティア「森の会」）
- ⑤ 朗読「1945 ヒロシマ（朗読劇「この子たちの夏（木村光一編）より」
（広島YWCA 朗読グループ夾竹桃）
- ⑥ 歌唱「反戦詩画人四國五郎を想う」 歌唱 今田陽次
- ⑦ 「あの日の哀しみと嘆きと」被爆者の手記や原爆詩の朗読（朗読グループ「心の声伝えたい」）
- ⑧ 「ヒロシマの空の下で」英語による被爆体験記の朗読
（国立広島原爆死没者追悼平和祈念館英語朗読ボランティア「PILE」）



後 援：広島県、広島市、広島県教育委員会、広島市教育委員会、長崎県、長崎市

主 催：みんなで伝え合おうヒロシマ・ナガサキ～広島の会

共 催：公益財団法人広島平和文化センター

支 援：核なき世界基金

協 力：国立広島原爆死没者追悼平和祈念館朗読ボランティア有志

特定非営利活動法人 ANT-Hiroshima

ナガサキ 映画と朗読プロジェクト

株式会社タキオンジャパン 稲塚秀孝

【収 入】

費 目	予算額	決算額	内 訳
入場料収入	0	0	入場料は無料
寄付金等	10,000	0	支援企業からの寄付金
広告料収入	0	0	
助 成 金	100,000	100,000	核なき世界基金から助成金
自己負担金	80,000	36,000	参加団体からの負担金（参加者1人2,000円×18人＝36,000円）
他団体助成金	0	0	
合 計	190,000	136,000 ①	

【支 出】

費 目	予算額	決算額	内 訳
印刷費	30,000	8,426	チラシ 3000部
会場使用料	0	0	公益財団法人広島平和文化センターとの共催により免除
舞台設営費	100,000	93,500	音響・照明等舞台 インターネットによる配信 委託
舞 台 費	50,000	7,580	広島市外からの高校生出演のための交通費 (尾道1名、呉1名)
報 償 費	0	8,900	長崎からの来訪者等への弁当代等
練習場使用料	0	0	各所属団体・個人で負担
事務費・その他	10,000	4,010	郵送料・送金手数料
合 計	190,000	122,416 ②	

収支差額①－②＝ 13,584円は、次年度開催に繰り越し